14　名古屋市（愛知県）

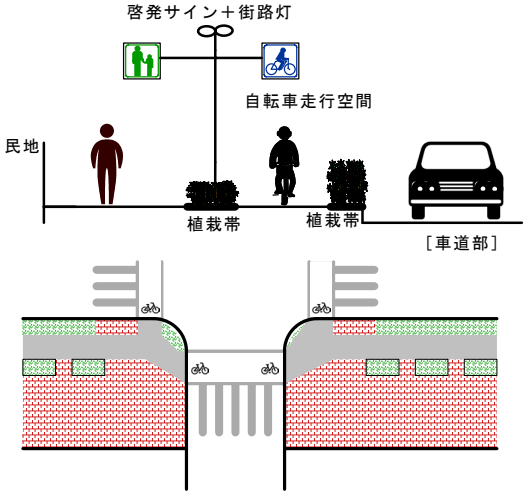
(7)市道山王線

■ 整備内容

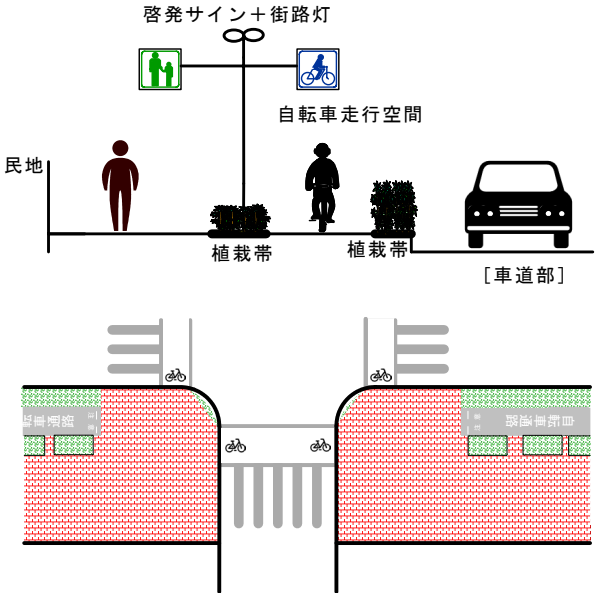
既設の植栽帯により構造的に分離してある路線において、交差点部の屈曲部を改良し、交差点内の自転車走行空間を利用区分が明確になるように啓発看板を設置しました。また注意喚起や利用区分を明確にするため路面表示を設置しました。

■ 整備箇所の状況

整備前



整備後



14　名古屋市（愛知県）

(7)市道山王線

■　工夫した点

交差点部では、歩行者との輻輳することが多いため、自転車走行空間を設置せず、自転車利用者に注意喚起を行いました。

利用空間が明確になるように啓発看板を設置するとともに、路面標示も設置しました。